

県立大和高等学校 令和6年度 第1回 学校運営協議会議事録

日時 令和6年6月7日(金) 14:30~16:10

会場 本校会議室

出席者 【委員】

林 忠(神奈川工科大学キャリア就職課公務員対策室長)

片山 政明(本校同窓会長)

山元 哲夫(つきみ野自治会長)

尾崎 憲介(本校PTA会長)

中村 強(大和市立北大和小学校長)

比留川 義弘(大和市立つきみ野中学校長)

石井 富佐子(本校校長)

【本校職員】

川島 秀生(本校副校長)、久永 靖子(本校教頭)、石塚 隆夫(本校事務長)

吉永 直裕、高橋 敦子、萩原 拓己、稲積 清司、品部 信寛、本郷 真由美

(以上、本校総括教諭)

令和6年度学校運営協議会委員委嘱(校長)

第1回学校運営協議会成立の確認

1. 校長あいさつ

校長 挨拶

2. 出席者自己紹介

各委員 挨拶

本校職員 挨拶

3. 会長選出

PTA会長 尾崎 憲介氏 学校運営協議会会長として承認

4. 配付資料について

(資料1)学校要覧、学校案内(2023年度版)

(資料2)令和6年度年間行事計画

(資料3)学校運営協議会運営計画書

(資料4)スクールポリシー、学校教育計画、グランドデザイン、
令和6年度学校評価報告書(目標設定)

(資料5)卒業生の進路状況

(資料6)地域連携について

(資料7)タウンニュース(本校紹介記事あり)

(資料8)学事部よりの報告

5. 学校評価部会

①副校長

資料の説明

- ・スクールポリシー、グランドデザインは昨年度の趣旨を活かし、よりわかりやすい表現に改めた。
- ・学校教育計画は本年度から新たな4年間の教育計画を作成した。

②学事部

3つの目標、「高レベルの学力育成」「課題解決力の育成」「生徒の進路保証をする教育課程の編成」を実現していく。

③生徒会部

学校行事や生徒会活動を通じた生徒同士の協働により目標達成をする力やリーダーシップを育成する。

④生活保健部

生徒は落ち着いており、社会のルールを守る傾向がある。

⑤進路部

昨年度の進路状況の報告

- ・国公立大学と早稲田・慶応の合格者は増加傾向にある。
- ・共通テストで5教科7科目を受験した生徒が276人中152人に達した。
- ・学校推薦型・総合選抜型の合格者数が増えた。

⑥広報部

生徒はいろいろな地域から通学しているが、地元の自治会との連携を続けて、各行事に積極的に参加するように促している。

⑦管理部

- ・60周年記念事業として同窓会より新しい校旗を、PTAより図書室の本棚と管理倉庫の寄付を受けた。
- ・各委員会の活性化を行った。
- ・生徒昇降口の靴箱を一新、武道場の耐震工事をした。さらに生徒が自習できる教室の確保を行った。

⑧学校管理(副校長)

- ・教員の働きやすい職場環境を整備していく。
- ・教員籍以外の職員の配置(業務アシスタント)の再配置により、教員の仕事の一部を移管していく。

⑨学校の課題(校長)

学校設備の老朽化に対して県に改修や更新を要望していく。

6. 意見交換

(意見) 地域から見ていると、こどもの見本になるような生徒が多いと感じる。

(意見) 落ち着いた環境で学校生活を過ごしているように見受けられる。今後も、中学生が入学を希望する高校であってほしい。

- (意見) 学校が課題に向けて努力していることがよくわかった。学事や進路の取り組みは今後も続けていっていただきたい。
- (意見) 職員の皆さんには、尽力をいただき、感謝する。要請があれば、同窓会としてもできる限り支援していきたい。
- (意見) 小中学生の見本となるような高校生を希望する。部活動生徒が周辺を清掃しているのはとても良い。
- (意見) 職員の活動がよく解った。学校に来ると生徒がよく挨拶をするのが良い。学校の計画について年度末にどう評価するのか、難しいと思われる。
学校の目標や結果について、他校との比較はできないか。
大学合格が目標ではなく、将来何がしたいかを考える教育をしてほしい。

7. キャリア部会

副校長 先ほど進路より報告があったのでそれに代える。

進路 委員からの質問の「他校との比較」であるが、同程度の進学実績のあった学校（学力向上進学重点エントリー校）と比較すると、他校以上に本校は伸びている。

8. 地域連携部会

副校長 昨年度の実績と今年度の予定を別紙のとおり報告する。

(意見) 地元自治会では年数回の防災訓練を実施している。それについてお知らせする。

9. その他

副校長 今年度の学校運営協議会の予定は別紙のとおりである。